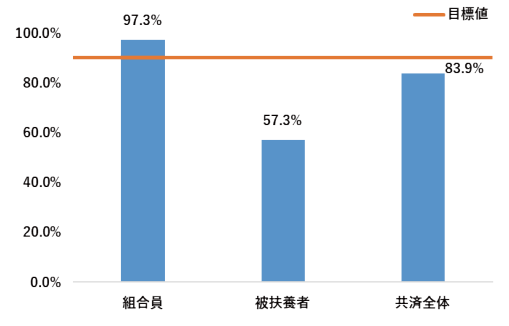


加入者一人ひとりの健康を支えるための4つの取り組み

1 特定健康診査

40歳以上の生活習慣病の予防と健康状態の改善を目的に実施する事業です。

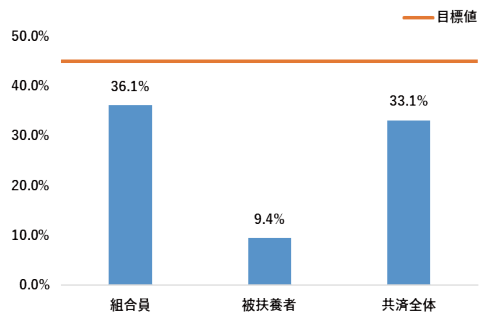
特定健康診査受診率



特定健康診査の受診率は目標値「90%」を達成していません。

2 特定保健指導

特定保健指導実施率



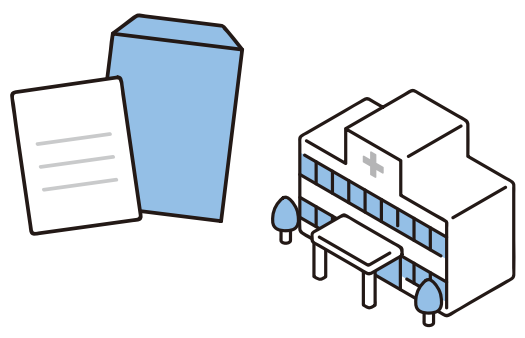
特定保健指導の実施率は目標値「45%」を達成していません。

受診率や実施率を上げるために

特定健康診査の時期にお手紙をお送りします。また、特定保健指導の対象者への案内文をお送りします。

3 生活習慣病重症化予防事業

生活習慣病の予防と健康状態の改善を目的に実施する事業です。



重症化を予防するために

健診結果が良くない方や放置すると重症化するリスクが高い方に、生活習慣の改善等をお勧めするお手紙をお送りします。

4 がん対策事業

がんの早期発見・早期治療を目的に実施する事業です。



男性女性ともに、2人のうち1人が一生のうちにがんと診断されます。また、男性では、およそ4人に1人、女性ではおよそ6人に1人ががんで亡くなります。

早期発見・早期治療のために

がん検診の補助、がん検診の受診後に医療機関を受診されていない方へ受診をお勧めするお手紙をお送りします。

第3期データヘルス計画

概要版



「データヘルス計画」とは

「みなさんが体の状態や医療費を見直すために、健康や医療に関するデータを分析して、より効果的・効率的な保健事業を実施していこう！」という計画です。

京都市職員共済組合の現状について

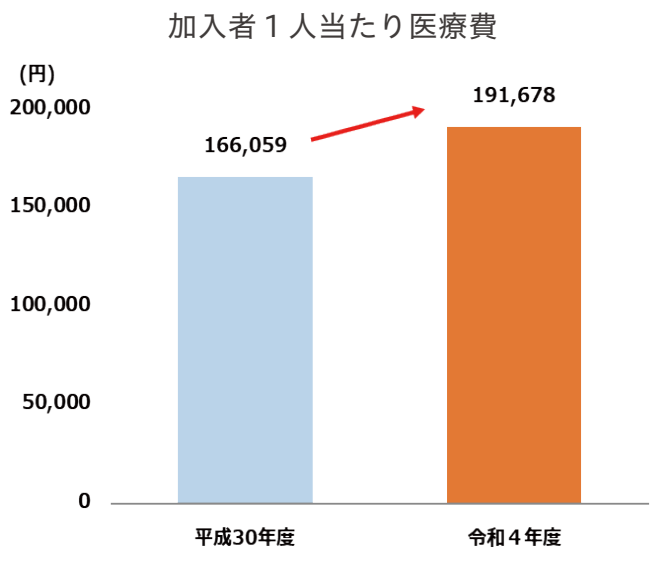
(1) 加入者数の状況

加入者人数	31,497人
組合員	16,302人 (平成30年度から1.17倍)
被扶養者	15,195人 (平成30年度から1.02倍)
前期高齢者数	1,193人 (平成30年度から2.98倍)
前期高齢者割合	3.8% (平成30年度から2.74倍)

※令和4年度末時点

(2) 医療費の状況

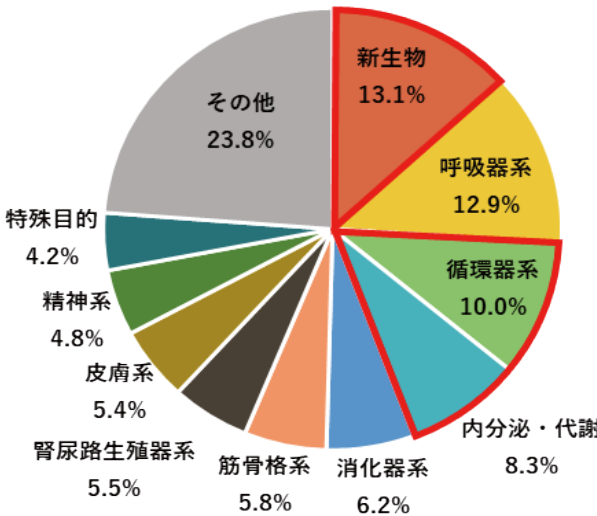
令和4年度の医療費は、平成30年度よりも、12億円増加しました。結果的に、1人当たり医療費は、平成30年度と比較し、2万5千円も増加しており、組合員の負担が増加しています。



分析で見えてきた京都市職員共済組合の課題について

疾病大分類別医療費から見た課題

令和4年度の疾病大分類別医療費をみると、「新生物（13.1%）」、生活習慣病が含まれる「循環器系（10.0%）」と「内分泌・代謝（8.3%）」が、医療費の上位であることが分かりました。

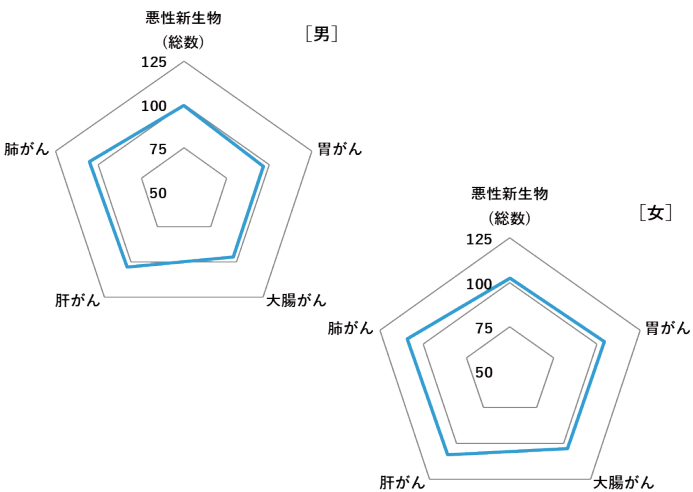


新生物について

がんに焦点を当てて分析すると、京都府のがんによる死亡比（標準化死亡比）は、男性では肝と肺、女性では全てのがん（胃・大腸・肝・肺）にて全国より高いことが分かりました。

また、当共済組合の5大がん（胃、大腸、気管・肺、乳、子宮頸部）と前立腺がんの患者割合は、胃がんを除き、微増傾向であることが分かりました。

京都府のがんにおける標準化死亡比 （全国を100とした比較）



がんはステージが高くなるにつれて生存率が減少するため、早期発見・早期治療を行うことが重要となります。また、がんにならないためにも、生活習慣の改善も重要です。

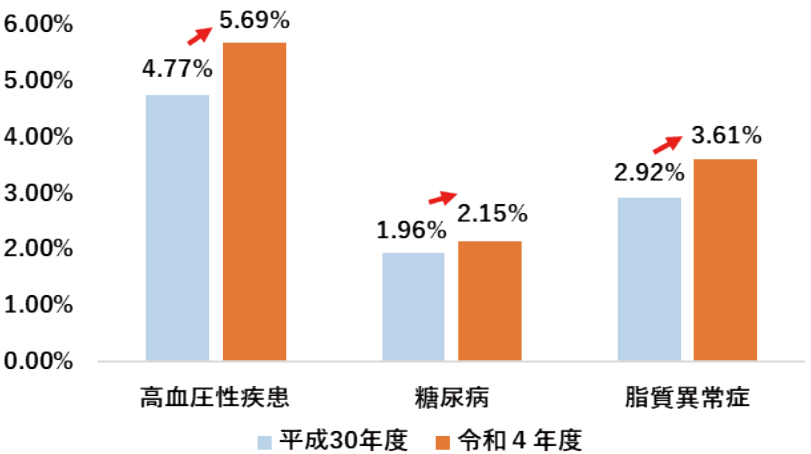
課題

早期発見・早期治療に繋げるため、健診の機会を提供することはもちろん、健診の結果「要精密検査判定」となったが、その後未受診となっている方への勧奨も必要。

生活習慣病について

生活習慣病に焦点を当てて分析すると、令和4年度の代表的な生活習慣病の患者割合は、平成30年度よりも増加傾向にあることが分かりました。また、生活習慣病の患者1人当たり医療費は、脳出血が突出して高く約173万円、次いで心筋梗塞が約51万円となっていました。

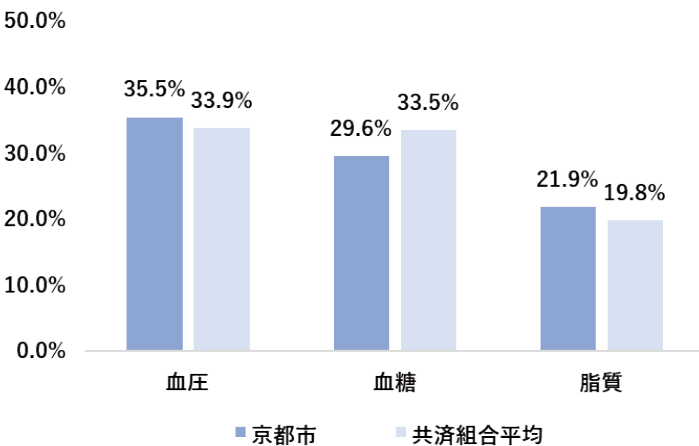
平成30年度と令和4年度の比較患者割合



令和4年度 生活習慣病の患者1人当たり医療費

脳出血	1,736,246 円
心筋梗塞	510,012 円
脳梗塞	275,111 円
糖尿病	213,812 円
狭心症	185,427 円
高血圧症疾患	103,854 円
動脈硬化症	76,355 円
脂質異常症	71,085 円

更に、治療が必要なまでには至っていませんが、3疾病に繋がるリスク保有者の当共済組合での割合を、60 構成組合平均値（共済組合平均）と比較したところ、「血圧」と「脂質」が、共済組合平均よりも高いことが分かりました。



生活習慣病の重症化は、手術等により高額な医療費が必要となり、場合によっては入院により、職場を長期離脱せざるを得ない状況になることもあるため、予防のためには生活習慣の改善が重要です。

課題

「現状の健康状態や生活習慣を知り、運動・食事・睡眠・飲酒・喫煙等の生活習慣を見直す機会の提供が必要。

